

せいきょう連ニュース

CO-OP 岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 岡山県生協連 検索

第38回中四国生協・行政合同会議が岡山で開催されました

開催日 8月31日(木)

会場 ホテルグランヴィア岡山(岡山市北区)

参加 生協51名、行政18名、講師1名 計70名

テーマ SDG s 実現に向けた地域との未来共創

第38回中四国生協・行政合同会議が岡山で開催され、4年ぶりに9県の生協と行政が一堂に会し、地域の課題の学習と生協、行政それぞれの取り組みの交流や意見交換を行いました。

冒頭、岡山県生協連平田昌三会長理事より歓迎の挨拶とテーマの趣旨説明があり、続けて岡山県上坊勝則副知事からご挨拶いただき、生協が地域の消費者に貢献していることへの賛辞をいただきました。厚生労働省からは社会・援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室井上宏室長が参加され、生協の社会的取り組みの拡充への期待を述べられました。

続いて、生協からの報告として日本生協連毎田伸一渉外部長より、全国生協の事業や組織の状況説明、各地での地域課題解決へ向けた行政や諸団体との連携の事例などの紹介がありました。

県生協連
平田会長岡山県
上坊副知事厚生省
井上室長

■ 特別報告：SDG s 未来杜市(とし)「真庭」の挑戦～地域資源を生かした真庭市の戦略～



特別報告として、真庭市の太田昇市長にSDG sの先の取り組みの考え方や実践課題についての講演をいただきました。人口減少、少子高齢化、中山間地の衰退など、中四国エリアのどこもが直面している状況の中で、それらの逆境を逆手に既存概念からの脱却の必要性を説き、森林資源の有効活用、家庭ごみを液肥にするなど、地域内でエネルギーや経済を循環させる持続可能な仕組みを作ったさまざまな事例が紹介されました。質疑応答も活発に行われ、参加者からは自県にも生かせる発想をもらえたなど、好評でした。

■ グループ交流：SDG s 生協が取り組んでいること、 行政がめざしていること

太田市長の講演や各県、生協の事前取り組み報告などをもとに、生協や行政のSDG sへの取り組みの交流や一緒にできそうなことなどを9つのグループで交流、意見交換を行いました。



■ 試食交流会

「げんきじゃ農！」と称した岡山の農畜産物、水産物の紹介を岡山県農林水産部対外戦略室の金平啓二室長よりプレゼンいただいた後、岡山県県民生活部くらし安全安心課宮原雅史課長のご挨拶で県産品を使用したメニューの試食を行いながらの交流会が行われ、県域を越えての生協や行政の交流が図られました。

岡山県
金平室長岡山県
宮原課長

2023年度事業計画、役員選任などの全議案を可決しました

第64回通常総会が、6月27日オルガホールにて開催されました。

新型コロナの5類移行に伴い実出席で開催され、代議員総数48名中45名（実出席31名、書面出席14名）が出席、11会員生協中10会員生協が出席し、2022年度事業報告・決算、2023年度事業計画・予算、役員選任の件などの4議案全てが賛成多数で可決されました。



開会にあたり、平田昌三会長理事は、コロナ禍はまだ終息とは言えず医療生協現場は奮闘していること、その中でも状況を慎重に見極め23年度は役職員学習や情報交流を復活・強化していきたいことが述べられ、平和とよりよいくらしのために、つながりを大切にする生協であり続けましょう、と呼びかけました。

来賓もお招きし、岡山県県民生活部くらし安全安心課課長 宮原雅史様、日本生協連中四国地連事務局長 傘木誠様、日本協同組合連携機構常務理事 伊藤治郎様にお越しいただき、それぞれから祝辞をご披露いただきました。



議案の一括提案後の議案討論では、3名の代議員から行政との連携や地域団体との協働、組合員の社会参加の促進などの取り組みについて発言がありました。



- 三井造船生協 高岡 正宏さん
「玉野市と連携した地域社会づくりの取組について」
- おかやまコープ 能勢 幸子さん
「他団体との協働による子ども支援の取り組み報告」
- 倉敷医療生協 早川 高子さん
「コロナ禍でも絆を絶やさずに！
～班会で集まれば社会参加～」

議案の採決結果

- 第1号議案 2022年度事業報告書および決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2023年度事業計画および予算決定の件
- 第3号議案 役員選任の件
- 第4号議案 役員報酬上限決定の件

- 賛成多数で可決
- 賛成多数で可決
- 賛成多数で可決
- 賛成多数で可決

最後に、総会後の第1回理事会で再任された平田昌三代表理事会長より新体制及び新任役員の紹介がありました。また、今期で退任になる役員の紹介と花束贈呈が行われました。

総会終了後、日本協同組合連携機構 伊藤常務理事に「協同組合のアイデンティティに関するICA声明について考える」と題しご講演いただき、世界と日本の協同組合の歴史と協同組合原則、アイデンティティの議論の変遷を学び、2021年のICAソウル大会で提起されたアイデンティティの見直しの論議の視点について学習しました。



倉敷医療生協

親子で取り組む「川ごみ回収調査2023」

倉敷医療生協では、昨年支部組合員が取り組んだ「川ごみの回収」を地域の小学生・保護者とも一緒に取り組もうと、6月～8月の期間3回の回収調査に取り組みました。

親子50人の参加があり、3回合計で58kgのごみを回収しました。

(公財)水島地域環境再生財団と連携し、学習と実践を同時に体験でき、身近な場所で環境問題に関心を持つことの大切さを実感することができました。



集めた川ごみの多さにびっくり (7月30日、倉敷市玉島・道口川にて)

“核兵器廃絶を!”と8月6日に鐘つき



核兵器廃絶の願い込め響く鐘の音 (矢掛町・大通寺)

倉敷医療生協の矢掛支部は、昨年より核兵器廃絶・恒久平和の実現を願い、8月6日の8時15分から「平和の鐘つき」を実施しています。会場となっている大通寺のご住職は、ご家族が広島で被爆されて亡くなられた経緯もあり「平和の鐘つき」に賛同をいただいています。

鐘つきには、矢掛町はもとより、井原市・笠岡市・倉敷市から12人の参加があり、核兵器廃絶への願いを語り合い、戦没者への鎮魂の祈りを捧げました。

津山医療生協

久しぶりの「ごんごおどり」練習

津山医療生協では、毎年職員や組合員の有志で連を作り、津山の夏に行われる「ごんごまつり」の中の「ごんごおどり」に参加してきました。コロナ禍で数年参加もなくなりましたが、今年は久しぶりに参加を申し込み、仕事終わりに集まって練習を重ねました。

久しぶりのため、最初は忘れていたところもありましたが、身体が覚えていたのか、細かい部分の再確認で皆すぐに踊れるようになりました。残念ながら今回は事情により棄権しましたが、来年以降参加する時もしっかり踊れそうと感じられる練習でした。



岡山県学校生協

南極地域観測隊の越冬隊スタッフによる 「南極クラス」を開催しました

岡山県学校生協では、各学校、ミサワホームグループ、国立極地研究所のご協力をいただき、子どもたちにとって“未知の世界”である南極での活動を伝える「南極クラス」を毎年、数校の小中学校で開催しています。

今年度は、第53次、第63次南極地域観測隊の越冬隊員として活躍された堀川秀昭さんによる「南極クラス」を岡山市立第三藤田小学校、岡山市立豊小学校にて開催しました。

冬季には氷点下40度以下になる極寒の厳しい自然、その中で環境への負荷に配慮した暮らしの工夫、そして限られた人員で支え合いながらミッションをクリアしていく南極隊員の様子などについて、動画やスライドで説明いただき、環境学習として、キャリア教育として、貴重な学びの場となりました。

今後も、南極観測の意義や自然環境を守る大切さ、全員で支えあうチームワークについて学習できる「南極クラス」を教育支援事業として推進してまいります。



岡山医療生協

「夏休み宿題応援隊」3年ぶりの集合開催

岡山医療生協では、小学生を対象に「夏休み宿題応援隊」を7月27日（木）、31日（月）、8月2日（水）の3日間開催しました。

実際に集まっての開催は3年ぶりで、参加者が安全に楽しんでもらえるようにと検討を重ね、これまでのつながりからワーカーズコープさんに自然コース、こくみん共済coopさんにぼうさいコースでご協力をいただくことができました。自然コースでは牧山ラインガルテンでの野外体験、ぼうさいコースでは、VRによる災害体験やゴミ袋を使った簡易カップ作り、アイスブロックを割れたガラスに見立てて新聞紙スリッパで歩く体験など5つの体験をしました。笑顔があふれ、元気に走り回る子どもたちの成長を見ることができた3日間でした。



おかやまコープ

「平和のひろば 2023」を開催しました

7月22日（土）、オルガホールにて「平和のひろば 2023」を開催し、組合員ら合計125名が参加しました。最初に、岡山県原爆被爆者会の廣信靖之会長より「核のない世界の実現に向けて今後も活動を続けていきたい」とあいさつがあり、俳優の斉藤とも子さんによる「被爆者に支えられて～いのちのバトンをつなぎたい～」と題した講演がありました。



被爆者の方々への
想いを語る
斉藤とも子さん

その後、山陽学園中学校・高等学校JRC部の皆さんによる実体験をもとにした平和の紙芝居「フジ子ちゃんと原爆～ひとりの卒業生も出せなかった学校で～」が披露され、参加者は、原爆の恐ろしさや平和の大切さを考える1日となりました。



紙芝居を披露する山陽学園JRC部の皆さん

常設型フードドライブをコープステーション邑久に開設

おかやまコープは、瀬戸内市社会福祉協議会と協働して、おかやまコープの宅配商品受け取り拠点であるコープステーション邑久にて2例目となる常設型のフードドライブを開設しました。受け付けた食品は瀬戸内市社協を通じて、必要としている家庭や子ども食堂などへお届けします。

8月14日（月）に行われた開設式には、瀬戸内市社会福祉協議会 日下英男会長、おかやまコープ 田中照周理事長、組合員の代表ら16名が出席し、この日までに集まった食品を贈呈しました。



瀬戸内市社会福祉協議会（瀬戸内市邑久町）で行われた開設式

グリーンコープ生協おかやま

親子で体験、「産直若鶏の解体&手作りチキンナゲット作り！」

グリーンコープ生協おかやまでは、7月27日（木）に親子で参加できる「夏休み企画・産直若鶏の解体&手作りチキンナゲット作り！」を開催しました。

秋川牧園さんにお越しいただき、いつも商品となって届いているチキンナゲットの美味しさの秘密や、実際に若鶏を解体しながら部位の特徴などをたくさん学びました。



そのあとのナゲット作りはみんな一生懸命。形も揚げあがりも色々ですが、味は文句なしの満点！美味しくできあがったナゲットを食べながらの交流会はとても盛り上がりました。



子どもたちの夏休み自由研究のテーマになったのではないのでしょうか♪

岡山大学生協

岡山大学オープンキャンパス開催



8月5日(土)～10日(木)にかけて「岡山大学オープンキャンパス2023(来学方式)」が開催されました。今年は混雑と熱中症対策のため、複数の開催日に分けて午前中のみの開催となりました。

岡山大学生協学生委員会C.C.C!では、入試課と共同で「学生相談会ブース」、「生協ブース」を設置するとともに、駅や学内での道案内を行い、生協の資料も4,000部ほど配布しました。

受験生・新入生の希望あふれる大学生活のスタートに向けたサポートが始まっています。



就実生協

組合員還元企画「夏だ!祭りだ!ガラポンだ!!」

就実生協では、生協店舗でのお買い上げレシート1,500円分で抽選に参加いただけるルールで、生協利用券や雑貨など用意し、全10日の日程で組合員還元企画を行いました。その結果、昨年を超える508名の方にご参加いただき、全ての方に何らかの商品をお持ち帰りいただきました。

期間中は会場や生協店舗でスタッフが声掛けを行いながら集客に努め、豪華賞品が当たった時などは大きな盛り上がりを見せました。

所属人数も増えてにぎやかになってきた生協学生部seedSの今後の活躍にご期待ください。



こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

チャリティイベント

「まび防災イベント&パン祭り」に出展しました！

7月24日（月）マービーふれあいセンター（倉敷市真備町）にて「まび防災イベント&パン祭り」が開催されました。

こくみん共済 coop 岡山推進本部は「VR災害体験ブース」とマスキングテープ（MT）によるワークショップの出展を行い、「防災クイズ」の展示も行いました。

体験後、「西日本豪雨の時には大変お世話になりました」「早い共済金の支払いで助かりました」といった感謝の言葉をいただくこともできました。



ダンスを楽しく踊る子どもたち

この間取り組んできている防災・減災の取り組みや、真備町の復興応援の取り組みなどと、共済事業が融合した瞬間を感じました。

またステージイベントでは岡山大学と開発した「ぼうさいPiPit！ダンス」を実施し、防災に大切な三つの心構えについて学んでいただきながら、保育園児や夏休みの子どもたちにつられて大人たちも一緒に、楽しく、命を守る動きを身に付けていました。



ぼうさいPiPit！ダンス



VR災害体験と防災クイズ準備



VR災害体験中の様子

三井造船生協

「玉野市熱中症標語コンテスト」表彰式

7月18日（火）、「暑い夏を乗り切ろう」と熱中症対策をテーマにした標語コンテストの入賞作品表彰式が玉野市役所で行われました。

市内小中学生を対象に実施した標語コンテストは、玉野市と大塚製薬(株)が令和3年に結んだ包括連携協定の一環で、三井生協と連携して開催されました。約350点の応募の中から、「気にかけてよう 母の機嫌と水分補給」など9つの標語が入賞作品に選ばれ、表彰されました。

入賞作品は、三井生協各店の飲料売り場などに7月下旬から掲示されています。



気軽にできる健康づくり ひとりでも健康チャレンジ！

「ヘルスチャレンジ2023」に参加しよう！

日々のくらしで、何か健康に注意しながら過ごしていますか？
食事や運動、早寝早起き、歯磨きなど、ちょっとした生活の中の習慣の工夫で、健康づくりにつなげることができます。

- 5つからがんばりたいコースを選んで、30日間チャレンジ！
- チャレンジしたら、「報告はがき」または インターネットで結果を報告♪ (11月30日まで) → 抽選でプレゼントが当たる！



- ① 気軽に運動コース
- ② 食生活コース
- ③ お口のコース
- ④ 私の健康コース
- ⑤ キッズコース

ひとりで参加、お子さんと一緒に、ご家族みんなで、お友達やグループなどで励ましあいながら、チャレンジしてみましょう！

結果報告者の中から抽選で700名様に「ばんそうこう(防水仕様)とハンドタオル2枚」プレゼント!!



詳細は各生協から配布のパンフレットをご覧ください。

こちらの二次元バーコードからも、パンフレットの内容の閲覧と、結果報告ができます。→



シットスキー「CO・OP1号」が完成!!

本年1月13日(金)の岡山県生協連・会員生協役員研修会にて日本パラノルディックスキーチーム GM の荒井秀樹さんに講演いただいた際に、障がいを持った子どもの入門機として、シットスキーの普及に努めているというお話を聞き、日本障害者スキー連盟へ寄付、今回の製作に至りました。

1台ずつ手作り、今回は生協からの寄贈を示す「CO・OP」のロゴを随所にちりばめていただきました。

これを機に、より多くの障がいをもった子どもたちがスキーの経験を積み、楽しむ機会が広がることを期待します。

<荒井秀樹 GM からのメッセージ>

岡山県生活協同組合連合会の皆様

ご寄付いただいたシットスキーです。夏はシットローラースキーとして、冬はクロスカントリースキーを装着して、シットスキーとして乗れます。障がいのある方たち、特に車椅子ユーザーの子どもたちには、雪の上での活動には制限がありますが、このシットスキーに乗れば、雪の上でも進んでいきます。簡単で、安全で、気軽に、どこでも、誰でもが楽しめるスキーです。

素晴らしい贈り物、本当にありがとうございました。

日本パラノルディックスキーチーム GM 荒井 秀樹



第36回岡山県消費者大会のご案内

《 記念講演 》 「今の世の中のおかしなこと、 憲法の視点から見たら…(仮)」



【講師】 八王子法律事務所 弁護士
しらが ゆりこ
白神 優理子 さん

バイタリティーあふれる語り口で、憲法の成り立ちから、憲法に貫かれている基本的人権や平和の思想などをわかりやすく説明してくれると好評を得ている白神さんに現在のさまざまな課題と憲法がめざすありたい社会の姿を語っていただきます。

プログラム	13:00 開会挨拶	14:45 団体活動報告
	13:15 記念講演	15:00 閉会

日 時 **10月31日(火) 13:00~15:00**(終了予定)

会 場 **オルガホール**(岡山市北区奉還町1-7-7 オルガビル地下)

- (1) 会場参加 先着90名(託児はありません)
- (2) YouTubeライブ視聴

●申し込み後、開催日2日前までにYouTube視聴URLをメールでお送りします。
※後日、見逃し動画の配信も予定しています。

申込メ切 **10月20日(金)**

申込方法 所属団体・生協にお申込みいただくか、右記二次元バーコードよりお申し込みください。



主催 **岡山県消費者団体連絡協議会**